

平成 30 年度 手話通訳技能認定試験問題

I 障害者福祉の基礎知識

II 聴覚障害者に関する基礎知識

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 解答用紙（マークシート）は別に配る。解答用紙は、一枚で、左半分は「I 障害者福祉の基礎知識」、右半分は「II 聴覚障害者に関する基礎知識」の解答欄になっている。
3. 解答用紙に受験番号・氏名をまず記入すること。
4. 解答は、問題ごとに、解答用紙の所定の欄に記入すること。
5. 解答用紙の記入については、問題冊子の表紙の裏を参照すること。
6. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。

解答用紙（マークシート）の記入例

1. 氏名と受験番号の記入例

氏名が「情文太郎」で受験番号が「900123」である場合、下記のようになる。

フリガナ	ジョウブン タロウ
氏名	情文 太郎

受 験 番 号					
9	0	0	1	2	3
①	①	①	●	①	①
②	②	②	②	●	②
③	③	③	③	③	●
④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
●	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	●	●	⑩	⑩	⑩

注 意 事 項

- 必ず、HB・Bの鉛筆・シャープペンシルを使用すること。
- 受験番号欄及び解答欄は、次の正しい例のようにマークすること。
正しい例 (○ → ●)
悪い例 (○ → ~~○~~ ~~○~~ ~~○~~ ~~○~~ ~~○~~)
- マークは、2の正しい例に従い、枠の外にはみ出さないように注意すること。
- マークを訂正する場合は、プラスチック製消しゴムで完全に消してから、マークし直すこと。

2. 解答の記入例

各問には、1から4まで四つの選択肢があるので、そのうち正しい答えを一つ選び、解答用紙に記入すること。

〔例〕

1 日本の首都がある都市はどこか、下の中から一つ選びなさい。

- 青 森
- 東 京
- 大 阪
- 熊 本

正解は「2」であるので、下記のようにマークする。

問1 ① ● ③ ④

I 障害者福祉の基礎知識

1 次の文の（ ）にあてはまる最も適切な語を、下の中から一つ選びなさい。

専門家による相談活動ではなく、背景を同じくする立場で共感しあい、相互にサポートをしあうことを（ ）という。

1. アドボカシー
2. インクルージョン
3. エンパワメント
4. ピア・カウンセリング

2 ノーマライゼーションに関する記述として最も適切なものを、下の中から一つ選びなさい。

1. アメリカの障害者自立生活運動から生まれた考え方である。
2. 障害者の生活条件をノーマルにしていくという考え方である。
3. 障害を克服して、ノーマルな生活を送れるようにしていく考え方である。
4. 身体障害者福祉法の制定に大きな影響を与えた考え方である。

3 次の文は、障害者基本法における障害者政策委員会に関する部分である。
() にあてはまる語を、下の中から一つ選びなさい。

政策委員会の委員は、()、障害者の自立及び社会参加に関する事業に従事する者並びに学識経験のある者のうちから、内閣総理大臣が任命する。

1. 医療に従事する者
2. 障害者
3. 障害者を養護する者
4. 弁護士

4 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）に基づく合理的配慮に関する記述として最も適切なものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 機能障害を補完する場合に提供される。
2. 実施者に負担がある場合には提供しなくてもよい。
3. 障害者が必要としている個々の場面において提供される。
4. 障害のない者と比較して優位になるよう提供される。

- 5 次の事例は、世界保健機関（WHO）の国際生活機能分類（ICF）の概念を適用するとどのように説明できるか、最も適切なものを、下の中から一つ選びなさい。

発達障害の診断を受けているAさんは、職場で同じ仕事を1年以上担当している。今でも、そのつど工程表を確認しながら作業を進めているが、作業の正確さでは同僚から高く評価されている。

1. 「環境因子」の影響を受けて、「活動」が促進されている。
2. 「環境因子」の影響を受けて、「参加」が促進されている。
3. 「心身機能」の影響を受けて、「活動」が促進されている。
4. 「心身機能」の影響を受けて、「参加」が促進されている。

- 6 平成23(2011)年の障害者基本法の一部改正に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 障害者差別の内容が合理的配慮の不提供に限定された。
2. 障害者の定義が見直され、社会的障壁に関する記述が加わった。
3. 施策の基本方針が見直され、障害者週間が加わった。
4. 目的規定が見直され、法の対象が障害のある日本国民に限定された。

7 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に規定されている「協議会（自立支援協議会）」が協議するものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 介護給付の決定
2. 個別支援計画の策定
3. 支援体制の整備
4. 障害支援区分の決定

8 障害支援区分に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 障害支援区分の不服申立ては、市町村に行く。
2. 障害支援区分の判定資料には、医師の意見書が含まれている。
3. 障害支援区分は、障害者手帳の等級に応じて決定される。
4. 障害支援区分は、「非該当」から「区分5」まで六つに分かれている。

9 平成28(2016)年の障害者総合支援法の一部改正によって、平成30(2018)年度から新たに創設された福祉サービスはどれか、下の中から一つ選びなさい。

1. 移動支援
2. 重度訪問介護
3. 就労継続支援B型
4. 自立生活援助

10 身体障害者福祉法における身体障害者の範囲に含まれないものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 肝臓機能障害
2. 味覚機能障害
3. 呼吸機能障害
4. ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害

11 次の文は、児童福祉法の「児童発達支援」の定義である。()にあてはまる語の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

児童発達支援とは、障害児につき、児童発達支援センターその他の厚生労働省令で定める施設に通わせ、(ア)生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、(イ)生活への適応訓練その他の厚生労働省令で定める便宜を供与することをいう。

1. ア：学校 イ：社会
2. ア：家庭 イ：学校
3. ア：社会 イ：地域
4. ア：日常 イ：集団

- 12 次の文は、発達障害者支援法の「目的」の主旨を記述したものである。()
にあてはまる語の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

この法律は、(ア)における発達障害者への支援、発達障害者の(イ)
の支援、発達障害者支援センターの指定等について定めることにより、発達
障害者の自立及び社会参加に資するようその生活全般にわたる支援を図り、
もってその福祉の増進に寄与することを目的とする。

- | | |
|-----------|------|
| 1. ア：学校教育 | イ：就労 |
| 2. ア：社会生活 | イ：余暇 |
| 3. ア：職業教育 | イ：就労 |
| 4. ア：日常生活 | イ：余暇 |

- 13 次の文は、障害者総合支援法の相談支援事業に関する記述である。()
にあてはまる語の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

居宅において単身等で生活する障害者に対し、緊急事態等に便宜を図る事業
を(ア)支援といい、障害者及び障害児の保護者の障害福祉サービスの
利用意向等を考慮し、事業所等と協議のうえで計画を作成する事業を(イ)
支援という。

- | | |
|-----------|---------|
| 1. ア：地域相談 | イ：ケアプラン |
| 2. ア：地域相談 | イ：計画相談 |
| 3. ア：地域定着 | イ：ケアプラン |
| 4. ア：地域定着 | イ：計画相談 |

14 次の文の（ ）にあてはまる障害福祉サービスはどれか、下の中から一つ選びなさい。

重度の肢体不自由者その他の障害者であって常時介護を要するものに対して、居宅における入浴、排せつ又は食事の介護、外出時における移動中の介護を総合的に供与することを（ ）という。

1. 居宅介護
2. 行動援護
3. 重度障害者等包括支援
4. 重度訪問介護

15 障害者総合支援法の「訓練等給付」に含まれるものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 育成医療
2. 移動支援
3. 共同生活援助
4. 生活介護

16 障害者総合支援法の「就労移行支援」に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 就職の斡旋^{あつ}が主な支援である。
2. 就労を希望する障害者であれば、何歳でも利用できる。
3. 通常の事業所での雇用が可能と見込まれる障害者が対象とされる。
4. 利用期限は定められていない。

17 障害者雇用に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 合理的配慮の提供は、すべての事業者の努力義務である。
2. 障害者雇用への取組み状況によっては、企業名が公表されることがある。
3. 精神障害者は雇用義務の対象になっていない。
4. 法定雇用率は毎年の失業率に連動して変化する。

18 障害基礎年金に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 障害者手帳の等級と年金の等級とは、連動していない。
2. 同居する親の所得が一定以上の場合、支給されない。
3. 20歳より前に発した障害については、支給されない。
4. 老齢基礎年金と併給できる。

19 次の文は、厚生労働省の「平成 28 年度都道府県・市区町村における障害者虐待事例への対応状況等」の調査結果である。() にあてはまる語の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

養護者及び障害福祉施設従事者等における虐待についてみると、障害種別としては (ア) が最も多く被害にあっており、虐待行為の類型としては (イ) が最も多かった。

1. ア：精神障害 イ：身体的虐待
2. ア：精神障害 イ：心理的虐待
3. ア：知的障害 イ：身体的虐待
4. ア：知的障害 イ：心理的虐待

20

成年後見制度利用支援事業に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 市町村長による申し立てもできる。
2. 障害者総合支援法の都道府県地域生活支援事業の必須事業である。
3. 成年後見制度の利用に要する費用は国庫補助の対象ではない。
4. 対象は、発達障害者及び精神障害者である。

Ⅱ 聴覚障害者に関する基礎知識

1

難聴についての説明として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 平均聴力レベルが同等でも、ことばの聴取弁別は個々人で異なる。
2. 気導聴力は悪化しているが、骨導聴力が正常に保たれている難聴が感音難聴である。
3. 感音難聴は耳鼻科的な治療・手術などにより聴力が改善することが多い。
4. 老人性難聴は伝音難聴である。

2

聴覚検査ABR（聴性脳幹反応）に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. ABRの結果は、低音域の聞こえを反映する。
2. ABRは、ティンパノメトリーの検査の代わりに用いられる。
3. ABRは、新生児や乳児など被検者が意思表示をできない場合に多く用いられる。
4. 詐聴の場合、聴力が低下した値となる。

3

^か蝸牛の説明として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 蝸牛の働きは、音を大きくして、聴神経に伝えることである。
2. 蝸牛の中にある有毛細胞は、人間の場合、消失すると再生しない。
3. 蝸牛の損傷による難聴は、伝音難聴である。
4. 蝸牛は、4回転半からなる渦巻き状の管である。

- 4 次の文の（ ）にあてはまる最も適切な数の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

耳元での大きな声のレベルは、約（ ア ）デシベルであり、身体障害者福祉法による等級分類で（ イ ）級とは、この耳元での大きな声の聞こえない聴力レベルである。

1. ア：70 イ：4
2. ア：70 イ：2
3. ア：90 イ：4
4. ア：90 イ：2

- 5 周波数 500、1,000、2,000、4,000 ヘルツの純音に対する聴力レベルを、それぞれ a、b、c、d とした場合、身体障害者障害程度等級表の計算に用いる平均聴力レベルの計算方法として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. $(a+b+c) / 3$
2. $(a+2b+c) / 4$
3. $(a+b+c+d) / 4$
4. $(a+2b+2c+d) / 6$

6 次の文は、特別支援学校教育要領・学習指導要領自立活動編(幼稚部・小学部・中学部平成29年告示)の第6章「自立活動の内容」6「コミュニケーション」に書かれた記述の一部である。()にあてはまる語の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

聴覚障害のある幼児児童生徒については、聴覚障害を(ア)する聴覚的な手段としての補聴器や人工内耳等、話し言葉を的確に(イ)するための視覚的な手段としての読話やキュード・スピーチ、指文字、手話等が単独もしくは組合せて用いられている。

1. ア：補助 イ：入力
2. ア：補完 イ：受容
3. ア：補助 イ：受容
4. ア：補完 イ：入力

7 社会福祉法人全国盲ろう者協会のホームページに記載されている、盲ろう者のコミュニケーションの方法に関する説明として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 指点字では、速記用点字タイプライターが使用される。
2. ローマ字式指文字は、アメリカ式アルファベット指文字を使う。
3. 弱視手話は、手話の形を手で触って読み取る方法をいう。
4. 手書き文字は、盲ろう者の手の甲に文字を書いて伝える方法である。

8 昭和31(1956)年に「耳の日」を制定した団体はどれか、下の中から一つ選びなさい。

1. 全日本ろうあ連盟
2. 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
3. 聴覚障害者教育福祉協会（旧：聾啞教育福祉協会）
4. 日本耳鼻咽喉科学会

9 一般社団法人日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会が行っている全国聴覚障害者相談支援事業の愛称はどれか、下の中から一つ選びなさい。

1. 聴覚サポート「こだま」
2. 聴覚サポート「どんぐり」
3. 聴覚サポート「なかま」
4. 聴覚サポート「みみより」

10 明治24(1891)年に設立された日本最初のろう者団体はどれか、下の中から一つ選びなさい。

1. 日本聾啞教育会
2. 東京聾啞学校校友会
3. 日本聾啞協会
4. 東京盲啞学校啞生同窓会

11 次の文の（ ）にあてはまる語と数の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

聴覚障害者が組織する（ア）と社会福祉法人全国手話研修センターが共同で行った「地方自治体における聴覚に障害のある職員の雇用等に関する実態調査報告書」（平成29(2017)年）によると、全国の自治体で働く聴覚障害者は、およそ（イ）人である。

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. ア：全国聴覚障害教職員連絡協議会 | イ：2,300 |
| 2. ア：日本聴覚障害公務員会 | イ：1,100 |
| 3. ア：全国聴覚障害教職員連絡協議会 | イ：1,100 |
| 4. ア：日本聴覚障害公務員会 | イ：2,300 |

12 2017(平成29)年の国連第72回総会において採択された「International Day of Sign Languages (仮訳：手話言語の国際デー)」はいつか、下の中から一つ選びなさい。

1. 5月25日
2. 9月23日
3. 12月13日
4. 12月19日

- 13 次の文章の（ ）にあてはまる語の組合せとして正しいものを、下の
中から一つ選びなさい。

2017(平成 29)年、(ア) のサムスンで開催された夏季デフリンピックに
は、100 か国、3,000 名以上の参加があった。また、2015(平成 27)年、(イ)
のハンティ・マンシークスで開催された冬季デフリンピックには、27 か国が
参加した。

- | | |
|----------|---------|
| 1. ア：韓国 | イ：スロバキア |
| 2. ア：トルコ | イ：ロシア |
| 3. ア：韓国 | イ：ロシア |
| 4. ア：トルコ | イ：スロバキア |

- 14 平成 29(2017)年 3 月 7 日付で全日本ろうあ連盟と全国手話通訳問題研究会、
日本手話通訳士協会が、厚生労働省に提出した要望書はどれか、下の中から
一つ選びなさい。

1. 「手話言語に関する条例制定」の要望書
2. 「医療場面における手話通訳」に関する要望書
3. 「聴覚障害者の労働及び雇用施策について」の要望書
4. 「手話通訳者設置事業における遠隔手話サービスの実施（地域生活支援事
業）」に関する要望書

15 幼くして聴力を失った娘はま子の教育のために、私財を投じて月刊「口話式聾^{ろう}教育」を創刊し、自宅に聾口話研究所を設け、のちに滋賀県立聾話学校を創設した人物は誰か、下の中から一つ選びなさい。

1. 伊沢 修二
2. 川本宇之介
3. 小西 信八
4. 西川吉之助

16 特別支援学校教育要領・学習指導要領(幼稚部・小学部・中学部平成 29 年告示、高等部平成 21 年告示)における、各教科等における配慮事項の中に、音声、文字、手話等を適切に活用して指導方法を工夫する旨が明記されているのはどれか、下の中から一つ選びなさい。

1. 幼稚部、小学部、中学部、高等部
2. 小学部、中学部、高等部
3. 中学部、高等部
4. 高等部

17 特別支援学校(聴覚障害)高等部(本科・専攻科)に設置されている学科として誤っているものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 理容・美容科
2. 印刷科
3. 産業工芸科
4. 保健理療科

18 人工内耳に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 蝸牛の中に入れた電極で聴神経を刺激するしくみである。
2. 騒音と音声を区別し、音声のみを聴取することができる。
3. FM補聴システムと併用することができない。
4. 小児は両耳装用ができない。

19 耳掛け型補聴器に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 装用者のきこえに合わせて調整を行う必要がない。
2. 色は日本工業規格（J I S）で肌色と決められている。
3. 修理費用は補装具費支給制度での支給対象にならない。
4. 重度難聴者は耳の型から作成したイヤモールドを使用するが多い。

20 平成 29(2017)年 12 月、羽田空港などに設置された「手話フォン」に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 電話ボックス内のモニターとカメラで、手話を使用する者同士が直接対話する装置である。
2. 電話ボックス内のモニターとカメラで、手話通訳を務めるオペレーターを通して会話をする装置である。
3. 話しかけるとコンピューターが音声を解析し、画面上のキャラクターが手話をしてくれる装置である。
4. 聴覚障害者の手話表現をコンピューターが解析し、画面上のキャラクターが音声で話をしてくれる装置である。